

灌注装置付き挿苗機を用いた植付同時施薬によるサツマイモつる割病対策

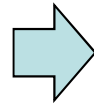
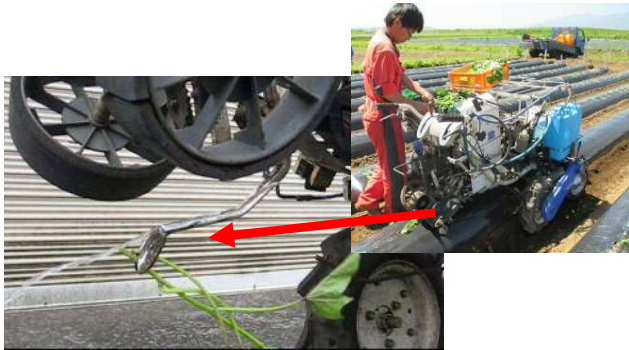
灌注装置付きサツマイモ挿苗機を利用したつる割病抑制技術

背景・目的

- ・サツマイモつる割病の発生は増加傾向で、土壌くん蒸剤の効果が高いが、ほとんど使用されていない。
- ・サツマイモ挿苗機は、活着促進のための灌注装置を有しており、苗基部周辺部への灌注が可能である。
- ・そこで、サツマイモ挿苗機の灌注装置を利用した薬剤の局所施用技術を確立する。

成果の内容

ベンレート水和剤の植付同時灌注により、つる割病を抑制



植付と同時に苗基部周辺に薬液を灌注

ベンレート灌注処理により発病株が減少

処理方法	調査株数	累積発病株数	
		+27日	+40日
ベンレート水和剤 500倍・23ml/株 植付同時灌注	92.0	0	0.7
ベンレート水和剤 1000倍・23ml/株 植付同時灌注	95.3	1.3	2.7
慣行) ベンレート水和剤 500倍植付前 苗基部浸漬	94.7	3.0	9.0
無処理	93.0	4.3	16.0

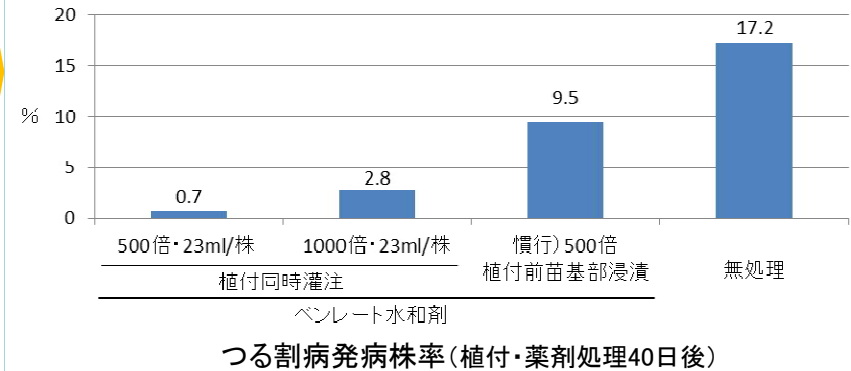
処理日は植付同時灌注, 苗基部浸漬とも平成26年5月16日, 品種「シロユタカ」, 黒ポリマルチ栽培
数値は3反復の平均

導入メリット



つる割病発生株と欠株状況

植付同時灌注



植付同時灌注のつる割病発病株率は1%以下

期待される効果

サツマイモ挿苗機を利用したつる割病の効率的防除

普及対象・範囲
つる割病発生地域サツマイモ生産者